

公益財団法人 水島地域環境再生財団

令和 2 (2020) 年度 事業報告

総括

今年度は、2020年の年初に発生した新型コロナウイルスの影響を大きく受ける年となった。2013年度から取り組む、環境学習を通じた地域づくりの取り組みでは、視察研修の受け入れのキャンセルが続き、独自に呼び掛けるモデルツアーは新型コロナウイルスの影響で実施不可能となった。このような大きな制約を受ける中で、JICA 中国研修受け入れや、県外への研修がかなわなかった中学生や高校生が水島に学びに来るなど、新規受け入れもあり、新たな展開となった。人の動きが制限される中で、オンラインを活用した学びの体制づくりに取り組むこともできた。

また前年度の3月14日に予定していた設立20年記念講演会は、10月25日に延期をして開催した。講師の宗田好史氏による記念講演会と昨年度作成した「2030年の水島、こうなったらいいな」を自己評価しながら進めていく仕組みであるアセスメントの方法書を作成、公開し、20年を振り返り今後を展望する機会となった。

財政的には、これまでの海ごみ問題への蓄積を生かした事業の獲得などもあり、前年度に比較して収入増となったが、赤字の体質を改善するには至らなかった。みずしま財団が持続可能な組織となるため、これまで蓄積した知見や関係性をどう財政面につなげていくかも含めて、早急な対応が必要である。

公益目的事業 1

(1) 公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究および活動

近年、世界的に注目されている海ごみ問題について、これまでの蓄積を生かして、岡山県、倉敷市などの行政や企業の委託事業で調査活動を実施した。発生源対策に向けた、知見を積み重ねることができた。

前年度開催した公害資料館連携フォーラム in 倉敷を一つの契機に水島における資料保存・活用について再考する年となった。コロナ禍の中で試みられたオンライン研究会で話題提供し、今までにない参加者へ発信する機会となり、またオンラインの学びの可能性を知ることとなった。

①岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度評価分析と活用事業

事業内容	今年度も、日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行い、報告書を作成した。 5/26 須増県議と打ち合わせ 12/18 岡山県新エネルギー・温暖化対策室との懇談
------	--

②海ごみの発生源対策としての、内陸河川での回収処理体制確立に向けた基礎調査

事業内容	倉敷市「高梁川流域瀬戸内海ブルー・オーシャン事業」を受託し、高梁川流域7市3町における川ごみ及び海岸ごみの実態把握調査を地域の団体や学校等と連携して実施した。調査の成果をもとに啓発用素材として展示用パネル(5枚)及びDVDを作成した。 8月~12月 7市3町における川ごみ及び海岸ごみ実態把握調査 2021/2 啓発用パネル(5枚)及びDVDの作成 岡山県「海岸漂着ごみ回収・調査事業」を受託し、鹿久居島(備前市)、牛窓(瀬戸内市)、下津井(倉敷市)の3海岸で漂着ごみの実態把握調査を実施した。 8/24 牛窓ごみ調査 10/26 鹿久居島ごみ調査 12/10 下津井ごみ調査
------	--

	<p>日本コカ・コーラ株式会社が実施する「岡山市内水路ごみ調査」を受託し（委託元：内外地図株式会社）、市街地の水路におけるペットボトルやレジ袋等のごみの発生実態を把握する調査を実施した。</p> <p>12/1～2021/3/22 岡山市内水路ごみ調査</p>
--	--

③資料保存・整理・活用・資料館づくり

事業内容	<p>第8回目となる公害資料館連携フォーラム in 長崎は1年延期となったが、公害資料館ネットワーク主催の研究会（オンライン）に参加し、知見を蓄積することができた。資料館づくりに向けた関係者との意見交流を進めることができた。</p> <p>6/28 公害資料館ネットワーク総会・意見交換会参加</p> <p>8/23 公害資料館フォーラム公害教育研究会 話題提供</p>
------	---

④水島地域のまちづくりと関連させた八間川調査

事業内容	<p>倉敷市環境学習センターとの連携事業として八間川調査を実施した。実施にあたり、一般参加者は募集せず、関係者のみで、データの蓄積の継続を目的として実施した。</p> <p>6/27 第67回八間川調査</p> <p>8/23 第68回八間川調査</p> <p>調査研究活動等で得られた知見、各種行政の審議会・委員会等の場で意見や提言をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営委員会（5/28、2021/2/22） ・岡山県河川整備検討委員会（2021/3/21） ・岡山県環境学習協働推進広場（おかやまかんきょうひろば）運営委員会（4/16、11/11、2021/3/8） ・岡山県環境審議会（9/4） ・倉敷市生物多様性審議会（7/30、11/17、2021/1/8） ・岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会（7/21、2021/2/19）
------	---

（2）公害経験や公害地域の再生・地域づくりに関わる情報交流事業

新型コロナウイルスの影響で延期となった記念講演会を10月25日（日）に開催した。

国・地方自治体が、ともに取り組みを重視するESD、SDGsの普及啓発事業を当財団の実施課題として検討を進め、作成した「2030年の水島、こうなったらいいな」の自己評価の仕組みであるアセスメント方法書を作成した。

①みずしま財団20周年記念事業

事業内容	<p>2020年3月14日に開催予定だった講演会&レセプションは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期し、10月25日に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みずしま財団設立20周年記念事業実行委員会（7/22） ・10/25 設立20周年記念講演会「みんなでみずしまの未来を想像してみよう ～新型コロナウイルス後の世界に必要なこと～」開催 <p>講師：宗田好史氏（京都府立大学文学部 教授）</p>
------	---

②公害地域再生・地域づくりに関わる市民活動団体等への運営支援・連携

事業内容	<p>水島を中心に岡山、倉敷地域で活動する市民団体・グループの活動を支援し、環境保全・地域づくりの活動のレベルアップを目指した取り組みを進めた。昨年度に引き続き、水島商店街の空きスペースを活用して地域のにぎわいづくりを目指す活動（ミズシマ・パークマネジメント・ラボ）と</p>
------	--

	<p>大学生の学びの活動をつなげてイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STOP 温暖化くらしき実行委員会 ・倉敷・総社温暖化対策協議会 ・おかやま環境教育ミーティング実行委員会（今年度は中止） ・（一社）高梁川流域学校 ・水島おかみさん会（水島お雛めぐり） ・ミズシマ・パークマネジメント・ラボ
--	--

③ESD、SDGs の実現に向けた普及・啓発事業

事業内容	<p>環境分野以外の団体等と関係性を構築するなど、SDGs をキーワードに、持続可能な地域を目指した取り組みを進めることができた。</p> <p>7/27 第 22 回 環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会</p> <p>9/17~19 モデルツアープログラム（岡山大学実践型社会連携授業と連携）の実施</p> <p>7/29 くらしき SDGs ネットワーキングセミナー in 水島（主催：倉敷市・特定非営利活動法人岡山 NPO センター、共催：公益財団法人水島地域環境再生財団・SDGs ネットワークおかやま）</p> <p>10/17 防災教育講座「高校生と一緒に考えよう私たちのまちの防災」（於：福田公民館、共催：環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会、福田中学校区人権学習推進委員会）（(公財) 福武文化振興財団助成事業）</p> <p>11/7 倉敷市環境学習センター登録団体連携講座「自然を語る」インタープリター養成講座</p> <p>持続可能な地域づくりに向けた、若者の学びの支援の取り組みとして、島根大学松本一郎教授を講師に迎えて災害と環境問題 減災につながる環境教育に関するセミナー（9月）と、多様な世代で生物多様性について語り合うプログラムを実施した（倉敷市委託事業）。</p> <p>9/26 「持続可能な地域づくりに向けた若者の学び SDGs から考える地域づくりを話そう！ in 水島」開催</p> <p>2021/2/2 「教えて、先輩！～生物多様性って何？～」開催</p>
------	---

④たより、年次報告書の定期発行、内容の充実

事業内容	<p>たよりを継続して発行。たよりの発送に合わせて、賛助会費の納入を呼び掛けた。</p> <p>たより 99、100、101、102 号を発行した。</p>
------	--

⑤HP、SNS、マスメディア等による情報発信の充実

事業内容	<p>みずしま財団の活動を周知するため、FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」（毎週金曜日）、ブログ、facebook 等による情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜 15:45～16:00 月 1 回を岡田評議員が担当。 ・ソーシャルメディア（ブログ、facebook 等）を活用し、効果的な情報発信を目指した。
------	---

(3)「滞在型環境学習プログラム」の実施と保健活動等支援事業

2018 年に立ち上げた「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」の活動では、モデルツアーの実施や研修受け入れは大幅減となったが、オンラインによる学びの体制づくりに取り組んだ。その結果、水島学講座

(歴史編)や、コンソーシアムシンポジウム、高梁川流域高校生交流会などをオンライン主体で開催することができた。

環境保健でも、新型コロナウイルスの影響で、地域のミニ健康展などにおける肺年齢測定を実施することはできなかったが、倉敷市の委託事業として呼吸リハビリ講習会を10回開催し、本問題の地域への啓発、早期発見・治療に向けた取り組みを進めることができた。

①滞在型環境学習プログラムの実現に向けたモデルツアーの実施

事業内容	<p>みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会を開催し、運営体制、具体的なプログラム等についての議論を行った。9/17～19のモデルツアープログラムの実施にあたっては、岡山大学実践型社会連携授業と連携し、大学生と地域住民と一緒にパーキングデイを実施するプログラムを実践した。古城池高校生物園芸部を主体とした、児島通生海岸における生き物調査、海ごみ調査をサポートした。</p> <p>7/3 みずしま滞在型環境学習コンソーシアム体制づくり検討会 9/17～19 モデルツアープログラム（岡山大学実践型社会連携授業（6名）と連携）の実施 9/20 JICA 中国エクスカッションツアーの実施（3名） 11/13 岡山市立竜操中学校 研修受け入れ（68名） 11/14 水島学講座（国際編）の実施 2021/1/16 高校生流域交流会@オンライン テーマ生物多様性 2021/2/27 みずしま滞在型環境学習コンソーシアムシンポジウム「若者と企業と一緒に持続可能な地域の未来を描く」 2021/3/3 岡山県立岡山城東高校（37名） 研修受け入れ 2021/3/27 通生海岸調査の協力（古城池高校生物園芸部）</p>
-------------	--

②小・中・高・大学、生涯学習等 講師派遣

事業内容	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団の職員を講師として派遣し、環境学習の提供、市民や学生など多様な世代が学ぶ機会を提供した（25件）。今年度は特にプラスチックごみを中心とした海ごみ問題の世界的な関心の高まりもあり、本問題に関する講師派遣が8件あった。また、環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会の取組として、水島地域内の小学校への出前教室プログラムを学校へ呼びかけ、新たに2件実施することができた。</p> <p>5/18 岡山大学（水島の公害について） 6/23・6/25 岡山市立津島小学校（フードマイレージ買い物ゲーム） 7/14 倉敷市立水島小学校（水島の公害について） 7/20 倉敷市立水島小学校（八間川の生き物） 7/29 NPO かけはし（フードマイレージ買い物ゲーム） 7/30 高梁市立松原小学校（フードマイレージ買い物ゲーム） 8/20 岡山市立芳田公民館（主催岡山市消費生活センター）（フードマイレージ買い物ゲーム） 8/30 海と日本プロジェクト in 岡山（海ごみ） 9/25 新婦人の会岡山（SDGsについて） 9/29 岡山市立岡西公民館（海ごみ） 10/22 倉敷南高校ラーニングカフェ（キャリア） 10/27 おかやまコープ美作エリア（海ごみ） 10/29 倉敷市立第五福田小学校（八間川の生き物） 11/14 倉敷市立第五福田小学校（水島の植物）</p>
-------------	--

<p>11/18 おかやまコープ総社東（海ごみ）</p> <p>11/19 岡山市立東山公民館（海ごみ）</p> <p>11/20 新婦人の会倉敷（SDGs）</p> <p>12/2 岡山市立後楽館高校（海ごみ）</p> <p>12/13 高梁川志塾（主催高梁川流域学校）（水島の公害について）</p> <p>2021/1/13 倉敷医療生協（海ごみ）</p> <p>2021/2/8-9 第四福田小学校（水島の公害について）</p> <p>2021/2/18 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターワークショップ（協働のまちづくり）</p> <p>2021/2/22 アセスメントオンライン学習会（主催 NPO 地域づくり工房）（SDGs、まちづくり）</p> <p>2021/3/29 新婦人の会岡山フィールドワーク（海ごみ）</p>
--

③大学・企業向け視察研修

<p>事業内容</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、倉敷医療生協の新入職員研修や山陽新聞社の新入職員研修、川崎医科大学や岡山大学の学生・留学生の受け入れが、中止となった。県内外から、視察研修の問い合わせは数件あったが、多くは実現に至らなかった。そのような中でも、合計 2 件の研修受け入れを行い、延べ 47 名が水島地域で学んだ。</p> <p>10/7 倉敷医療生活協同組合 3 年目職員研修の受入 34 名</p> <p>11/16 新見市環境衛生協議会 13 名</p>
--

④人々が健康的に暮らせる地域づくり事業

・ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見・治療を目指す地域連携のしくみづくり

<p>事業内容</p> <p>COPD の早期発見・治療を目指す地域連携の取り組みとして、呼吸リハビリ講座「息切れとうまく付き合うコツ、教えます」（倉敷市委託事業）を水島地域内 10 カ所で開催し、のべ 78 名が参加した。くらしき COPD ネットワークと連携し、理学療法士 4 名が講師となって実施した。新型コロナウイルス対策に十分に考慮して行った。</p> <p>10/21 東川町公民館 参加者 10 名、講師片山章子氏</p> <p>10/24 呼松保健の家 参加者 6 名、講師萩山明和氏</p> <p>10/29 広江中央公民館 参加者 7 名、講師片山章子氏</p> <p>10/30 福田公民館 参加者 7 名、講師片山章子氏</p> <p>11/5 松江公民館 参加者 3 名、講師片山章子氏</p> <p>11/15 塩生保健の家 参加者 16 名、講師藤原耕三氏</p> <p>11/8 水島愛あいサロン会議室 1・2 参加者 8 名、講師佐藤雅昭氏</p> <p>11/11 水島憩いの家 参加者 8 名、講師片山章子氏</p> <p>11/23 水島愛あいサロン会議室 1・2 参加者 5 名、講師萩山明和氏</p> <p>11/29 連島公民館 参加者 8 名 講師藤原耕三氏</p> <p>講師所属・肩書</p> <p>片山章子氏：倉敷医療生活協同組合健康事業部、くらしき COPD ネットワーク</p> <p>萩山明和氏：岡山大学病院 総合リハビリテーション部主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生</p> <p>佐藤雅昭氏：倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院リハビリテーション科長、くらしき COPD ネットワーク</p> <p>藤原耕三氏：医療法人誠和会倉敷第一病院主任、環境再生保全機構呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了生、くらしき COPD ネットワーク</p>

組織運営

監査：5月22日に前年度監査を行った。

理事会・評議員会：理事会を6回、評議員会を2回行った。

6/6 第44回理事会

6/20 第20回評議員会

6/20 第45回理事会

9/12 第46回理事会

12/5 第47回理事会

2021/2/13 第48回理事会

3/6 第49回理事会

3/28 第21回評議員会

受取会費・寄附

受取会費は、1,129,000円であった。

受取寄附は、580,060円であった。

執筆依頼

- ・ 環境と公害 第50巻 第3号 特集①公害資料館の現代的意義と課題「倉敷市水島における環境学習のまちづくり—公害資料館づくりに向けて—」
- ・ 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター「アジア4ヶ国における持続可能な地域づくり事例集—学びの共同体構築に向けて—」

外部委員

- ・ 中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）運営委員（2017年～）
- ・ 岡山県河川整備検討委員会委員（2013年～）
- ・ 岡山県環境学習協働推進広場（おかやまかんきょうひろば）運営委員（2014年～）
- ・ 岡山県環境審議会廃棄物部会委員（2012年～）
- ・ 岡山県環境マネジメントシステム外部評価会委員
- ・ 倉敷市生物多様性審議会審議員（2018年～）
- ・ STOP 温暖化くらしき実行委員会委員
- ・ 公益財団法人 公害地域再生センター（あおぞら財団）評議員（2019年～）
- ・ 公害資料館ネットワーク幹事
- ・ 倉敷市古城池高校水島プラットホーム委員